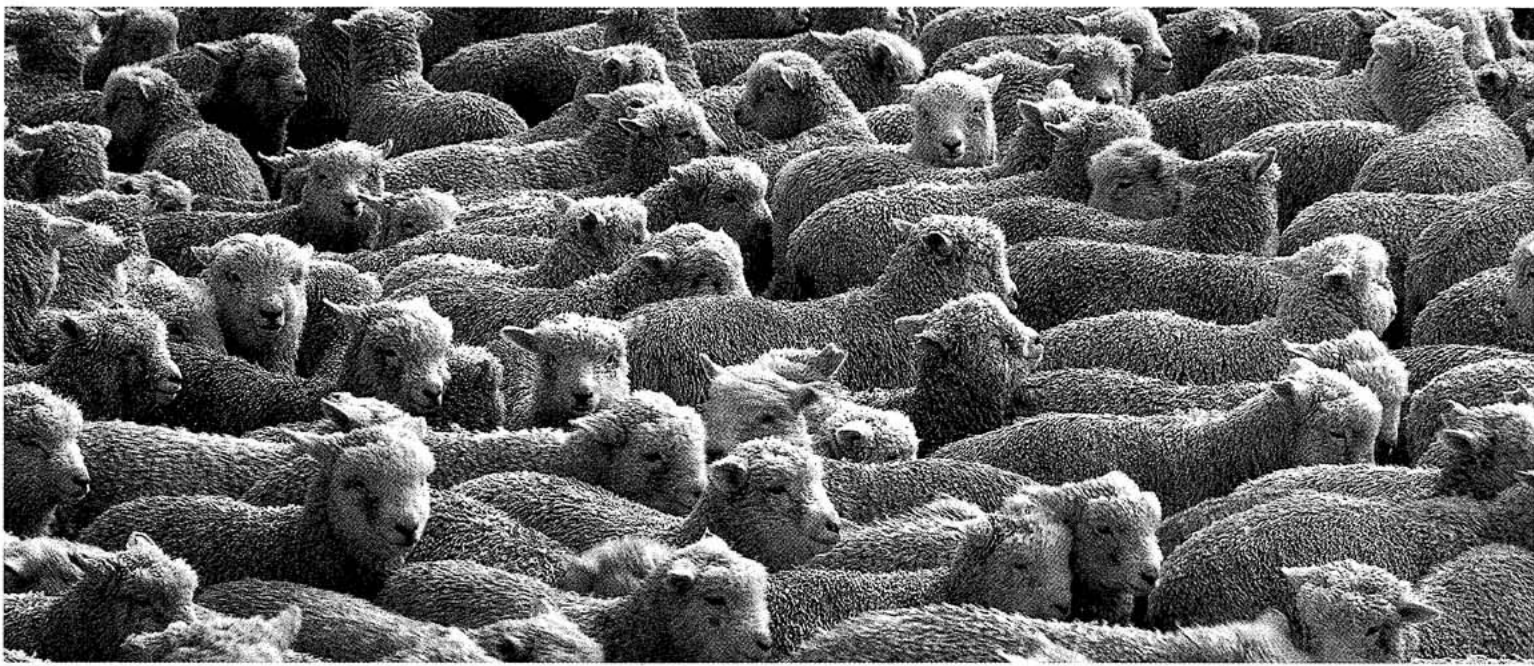
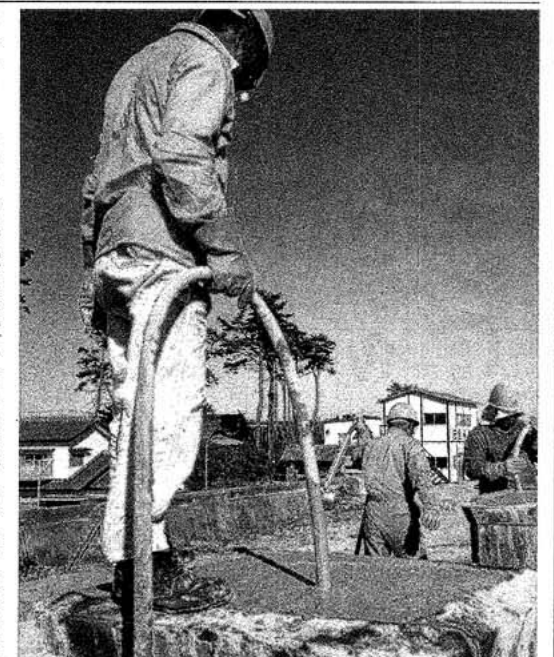
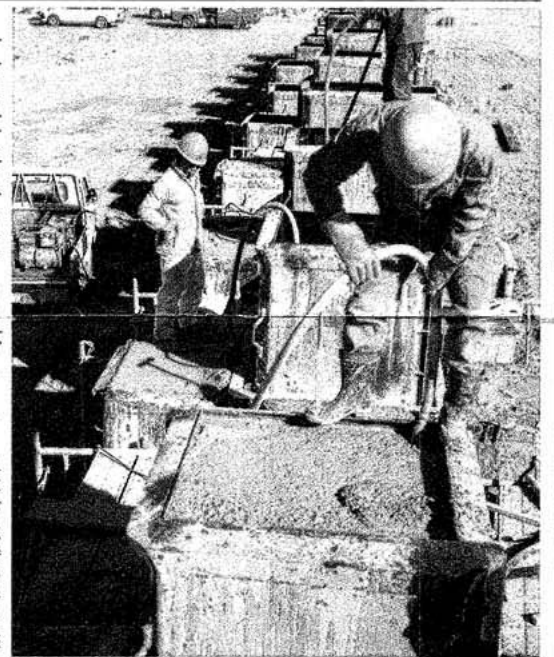




三笠産業株式会社

発行所
東京都千代田区錦糸町1-4-3
三笠産業株式会社
電話 東京(3292)1411 大代表
テレックス 222-4607
郵便番号 101
PR旬報 年4回発行

現場レポート 大好評! マイコンバイブレーター



コンクリートの中の気泡が広範囲に出てきている。いくつかのブロックを打設したところで、オペレーターの人にマイコンバイブレーターの使い勝手を聞いてみると「従来の高周波バイブレーターに比べてとても軽く、ホースも細いので握りやすく、大変作業しやすい」「手元にくる振動が従来の高周波より、はるかに少ないので楽に作業できる」「型枠を通して足元に感じる振動は高周波よりも強く感じる」等々。特にオペレーターの方々が喜ばれたのは、軽く握りやすく、振動が手に

少ない点であった。従来の高周波バイブレーターは昔に比べれば振動は少なくなったが、まだまだ手に伝わる振動は大きく、その為軍手をしてその上にゴム手袋する状態である。その為握力も弱くなる。そしてゴムホースが太いためにたいへんな労力であったということである。それがマイコンバイブレーターでは見事に解消され、オペレーターの人の強い味方となった。昼頃、ミキサー車が来るし、その間、一服しながら雑談していて「建築現場にマイコンバイブレーターを持っていけば泣いて喜ばれるぞ」と建築現場へのPRのアドバイスを受けた。今回のデモンストレーションで、マイコンバイブレーターの良さをオペレーターの人達に充分わかって貰えたことに満足し、現場を後にした。

河合記

十一月二十二日、VH-52マイコンバイブレーターとVC-1コントローラーを荷台に載せ仙台を出発。国道六号線を福島県は双葉郡浪江町に向けて南下、約二時間半で請戸海岸にある横山建設(株)さん(本社・福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字述前十六)の請戸作業所に到着。ここで十六トンの六脚ブロックのコンクリート打設があると聞き、新製品のマイコンバイブレーターのデモンストレーションをお願いした次第である。到着した時には、すでに従来の五〇ミリラスの高周波バイ

ブレーター三本が独特の音を響かせながら打設が行われていた。横山建設さんにて1KVの発電機を借用して、早速マイコンバイブレーターのデモンストレーションを開始。マイコンバイブレーターをコントローラーに接続し、コントローラーのキャブタイヤコードを発電機のコンセントに差し込みスイッチON。振動筒の中のモーターがスタート準備をする「カチ」「カチ」と音がして二、三秒後に一気にスタート。ホッパーから型枠に投入されたコンクリートが見る間に崩れて行き、

の象徴的な姿が統一ドイツの誕生であり、その瞬間に高らかに歌い上げられた「歓喜の歌」には自由と平和への強い希求が奔流となって、歌う人、奏く人と聴く人の胸を満たし、見つめていた自分まで強い感動の嵐に包み込まれてしまいました。

本年もまたいくつもの劇的シーンに遭遇することと思いますが平和が続くことを祈っております。

明けましてお目出度うございます。皆様にはお揃いで良い年をお迎えになられ、さぞかし新年に寄せる明るい希望の大きいものがあるのにと御同慶申しあげます。

さて旧年中は三笠をひとたならずご愛顧お引立て頂きまして誠にありがとうございました。おかげ様で社は極めて順調な業績を挙げることが出来ました。本年はこの感激を尚一層新たなものにして皆様のご要望にお応えしたいと社員一同ピチピチと張り切っております。

地味ではございますが堅実主義、平和主義を信用の第一



謹賀新年

取締役社長

京谷 達也

ランドでは首都と羊の牧場が隣接して調和を見せていた。たし、ギリシャの丘ではどかな羊飼いの歩みに暫し見とれたこともありました。しかしそうした平和な風景を支え

激しい感動に包まれた演奏は衛星放送で送られてきた「東独最後の第九」に尽きるところです。四十五年間、ソを、西極とした東西対立の戦後態勢が音を立てて崩れ去り、そ

本年もまたいくつもの劇的シーンに遭遇することと思いますが平和が続くことを祈っております。

皆々様にとりまして、よりよい年であることをお祈りし、新年のご挨拶と致します。



第6回 東北三笠レンタル会総会

秋保温泉を舞台に実施

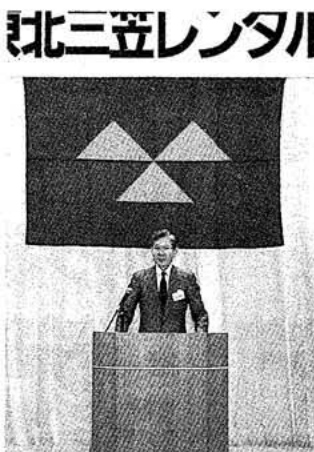
東北三笠レンタル会の第六回総会が平成二年九月二十七日(木)午後二時より、仙台市秋保温泉「ホテルクレセント」に於いて開催されました。

当会も設立当初(昭和六十年四月)会員数二十七社でスタートしましたが、六期目の本年は会員数五十二社と倍増し、益々その目的と三笠の責任が重要視されるようになりました。

総会に先立って主力製品説明会が開かれ、本年度の新製品であるマイコンパイプレーター(マ



挨拶する中野会長



挨拶する京谷社長



三笠製機展示会

ランマー、プレート、コンクリートカッター、ハンドカッター等も展示され、活発な商談が行なわれました。特に高周波パイプレーターの新製品と目されるマイコンパイプレーターに注目が集まり、その軽便さ、力強さに人気が高まり、いよいよ小型建設機械の分野にもメカトロニクス時代の到来したことを強く印象づけました。

続いて開かれた総会では、中野会長が「建設レンタル業界に於いても長期的には大変明るい見通しが示されており、高金利、人手不足、高齢化、さらにはイラク問題など、新たな懸念も生れてきました。私も建設レンタル業界は景気に左右されやすい体質をもっている。この折、積極的な経営姿勢と共に慎重な配慮が必要になってきたのではないかと感じます。三笠製品を十分活用されましてさらなる発展を期待し上げたいと思います。」と挨拶された後、京谷社長の挨拶に続いて、事務局より新入会員の紹介及び役員紹介が行なわれ、各県一人の役員配置となり、さらに活発な活動が期待されます。

議案のほうは前期事業、収支の報告。今期の事業計画、予算案について事務局より説明があり、共に全員一致で可決されました。また本会は総会あるいは

西武機販が参戦!! ニッサン・ザウルスカップ レースに…加藤社長が監督



も社員が積極的に参加している。この全社一丸となって取り組む姿勢が仕事の面にも良い影響を与えている。」とおっしゃっている。

三笠も第7戦以降、加藤社長のご好意によりマシンに写真のようなステッカーを貼って頂いている。

平成三年度は、関東シリーズとして全八戦が予定されており、「MAX TRY RACING TEAM」も全戦に参加の予定とのこと、健闘を期待したい。

(注) 日産 ザウルスカップレースとは一九八七年の東京モーターショーで話題になった日産のコンセプトカー「ザウルス」をレース用に開発したマシンで、そのスタイリングは限りなくフォーミュラカーに近く、ミッドシップのユニークなボディは子供達にも人気があり、ラジコンカーにもなっている。この本格的なレーシングマシンに近い、高性能マシンを操縦してエキサイティングなレースを体験できるビッグイベント。

営業幹部会との講演会を行っていますが、今回は建設新聞社編集長白川勝彦氏による「東北建設業の現状と展望」と題した講演が行われ、会員の皆様に大変参考になったようです。

総会終了後、会場を移して懇親会が開かれ、京谷専務の挨拶に続いて前田副会長の発声で宴が始まり、飲むほどに唄うほどに盛り上がり、時のたつのも忘れ、夜は更けていきました。

翌日は、会員有志によるゴルフコンペが秋保カントリークラブに於いて行われ、熱戦の結果、開盛リースの後藤孝雄社長がベスグロ優勝されました。

会員の皆様の今後益々のご活躍をお祈り致します。

小笠原記

第五回 北海道三笠レンタル会総会

挨拶する伊藤会長



第五回

北海道三笠レンタル会総会 定山溪ビューホテルで開催

第五回北海道三笠レンタル会総会が去る十一月二十七日、二十八日の二日間、定山溪ビューホテルに於いて開催された。

暖冬の為、雪も無く暖かな気候の中、午後二時に会員の方々が同ホテルに集合された。総会に先立って製品説明会が行われ、パイプレーター、輾圧機械の順で説明が行われた。会員の方々は熱心に聞き入っており、説明終了後は直接手に触れて頂き、質問などを受けた。新製品の中では特にコンピューター制御によるマイコンパイプレーターやオイルバス型ランマーMT-170V、防音型MT-68SGKランマー等が関心の的であった。

引き続き三時五分より定時総会が開かれ、先ず伊藤会長(北海産業(株)社長)が「我々建設関連業界も一昨年来フォロウの風に乗る、皆様方が大変素晴らしい成績で事業を展開されているものと思います。この風に乗り、皆様方と共にこのレンタル会を益々発展させ、売上向上を計る」と共に内容の充実を計って行きたいと思っております。」と挨拶され、続いて三笠の京谷社長が「絶好調が当然といわれている建設業界とは言え、メーカー同志の競争は益々激しくなっている中、あつて業績を大幅に伸ばし続けることができたのも会員各社の積極的なご支援の賜物と厚くお礼申し上げます。景気も旺盛な設備投資に支えられ、さらに来年からは十年におよぶ四百三十兆円という膨大な公共投資も約束されており、当分は今の景気が続くものと予想されます。この機会を生かして三笠産業は全社一丸となって皆様方のお役に立つことを専らに、一層の精進を重ねて参る所存ですので、何卒今後とも変わらぬご

支援とお引立てを心からお願い申し上げます。」と挨拶した後、会員および新入会員のご紹介があり、議事に入った。

伊藤会長司会のもと、第四期事業報告並びに収支決算報告が行われ、そして第五期事業計画案並びに予算案が発表され、満場一致で可決された。続いて今期で人気満了になる役員の改選が行われ、次の通り全役員の方々が留任された。

会長 伊藤 武史
(北海産業(株)社長)
副会長 北守 高
(槽崎リース(株)社長)



総会終了後は、北海道拓殖銀行調査部より講師を招き「今後の北海道経済の行方」というテーマで経済講演会が行なわれた。ゆつくりと温泉につかっていただいた後、午後六時三十分より「留明の間」にて懇親会が開かれた。総会会場とは違い、会員皆様方はおくるぎのご様子で和気あいあいの中、三笠社員との親睦も深められ、和やかなうちに終了した。

高橋記

東京三笠レンタル会会員であり、東京の多摩地区で三笠製品を始め各種建設機械の販売およびレンタル事業を手広く展開されている西武機販(株)さん(東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎武蔵野944-3 加藤義昭社長)では、社長の趣味であるモータースポーツと若い社員の要望が一致し、社内に「MAX TRY RACING TEAM」を結成、社長自ら監督となり、日産のワンメイクレース「ザウルスカップレース」を中心に活動している。本年度の成績は同レース関東シリーズ9戦全戦に出場し、専属ドライバーの小沢選手がドライバーズポイントで六十二人中十位と優秀な成績を収めているほか、他の三選手も健闘している。

加藤社長はモータースポーツ参加の意義について「社員ドライバーの古田君も頑張っているし、メカニックその他スタッフ

'91年開催日程

- | 日程 | 大会名 | 開催地 |
|---------|---------------------|------|
| 3/30~31 | F3 スプリング選手権レース | (富士) |
| 4/13~14 | チェッカーグレート30レース | (筑波) |
| 5/18~19 | SUGO G1A 300kmレース | (菅生) |
| 7/20~21 | 全日本富士500mile レース | (富士) |
| 8/17~18 | '91レース・ド・ニッポン | (筑波) |
| 9/14~15 | 東京プロダクションカーレース | (筑波) |
| 11/8~10 | INTER TEC | (富士) |
| 12/7~8 | SCCN ツクバモーターフェスティバル | (筑波) |
- *各レースの入場割引券を差し上げます。
詳細は西武機販(株)内「マックスドライブ」レーシングチーム事務局にお問い合わせ下さい。(TEL0425(57)3001)

'90建築仕上フォーラムに 三笠初参加で大健闘



去る十月一日(木)～四日(日)の四日間、第二回建築仕上フォーラムが幕張メッセで開催され、三笠産業はコンクリート仕上機械ホワイトマンパワーロウエルを中心に展覧いたしました。

これからの家づくりと街づくりにはこれまでの量の充足から質的向上や文化環境づくりへの寄与も求められています。今回のフォーラムは幕張メッセ国際展示場で最新の建築仕上材料、技術、機械・機器の紹介と、同国際会議場でのシンポジウムを通して二十一世紀の家づくり、街づくりのあり方を追求するという企画のもと開催されました。

展示会部門はメッセ国際展示場の屋内四、五、六ホールを使用し、出展二五七社一、〇〇〇小間の規模で展示されました。会場は未来の街づくりを追求するというテーマにふさわしく明るくゆとりを持ってレイアウトされており、各々趣向をこらした展示小間に加えて三笠所のシンボルゾーンが設けられた他、二か所あるイベントゾーンからは琵琶の演奏や弦楽四重奏などの音色も流れ、ゆくりと見学できる雰囲気をもし出していました。

展示会場の一角では、第二十回全国左官技術競技大会が開催され、全国の予選を勝ち抜いたプロの腕前が見学者の目に披露されました。一方隣接の国際会議場では三日間、四部に分かれて国内外の各分野の著名人、有識者によるシンポジウムが開かれ、日本国内だけでなくアジア各国をも見詰め、討議が行われました。

三笠産業は展示部門に仕上関連機械としてホワイトマンパワーロウエル、マイコンパイプレーター、インヘッダーなどを展示いたしました。来場者は建築仕上関連の方が多いため、出展機の中では搭乗型パワーロウエルが特に数多くの方から御注目いただきましたが、来場者のお話をうかがう中に仕上精度の向上と共に省力化に対する関心の深さが強く感じられました。

又、エポキシなど樹脂モルタル系の仕上に開発されたE-4型パワーロウエルに対しても数多くのご質問をいただき、年々進む材料や工法の進歩に伴い、コンクリート仕上分野以外にも仕上関連作業の機械化、省力化のニーズが高まっている事を感じました。おかげさまで、まして三笠の小間にも多数の方のご来場をいただき盛況の内に閉幕しました。運営委員会よりの報告によれば会期四日間の総入場者数は二万七千人を数え、また、五十余社の報道出版関係の取材があったことでした。次回は一九九一年十二月に今回を更に上回る規模での展示会が予定されています。最後に紙面をお借りしまして、御来場者各位ならびに御協力頂きました関係各位に厚く御礼申し上げます。

あつという間に一年がめぐってしまつた。茶のみ話で始めた「すまじ茶話」も今回で千秋楽としたい。一介の機械屋、技術屋でありながら祖父の代からの相撲茶屋に生まれたために縁切りもできずそこそこ相撲の世に肩入れさせられて生きてきた自分をふりかえるとき、人生って面白いものだと思ふ。相撲から得たもの学んだことは山ほどある。組織の動かし方や事業経営の方法それから人間関係のハウトゥも。相撲世界は私の先生のひとりだったのだと今では考える。



相撲茶屋問題は私は直接の関係者だから緊張させられたが、結局は内容はそのまま番号制と相撲サービス会社の新設によって一件落着。ざっと挙げただけでもこのように協会のお手並みは実にみごとである。その精神の根本には「古式を守りながら近代を採用していく」というの理念があるのだと私は思う。経営も古いしきたりを保持しつつ新時代の先端を行く姿勢だ。こうした理念は昔から相撲の世界にあつたらし、例えば今や世界中がカード時代といわれるそのカード制度の発案は日本であり相撲界だと説く人がいる。「端紙」といって謂わば大福帳のように「弁当百人」と記した紙片がそのまま現金化された時代も事実あつたのである。相撲博物館は収蔵品が多いため場所ごとの展示替えもままならない様子だが、カードの原型である「端紙」もいずれ展出されるかもしれない。博物館といえは某氏が私のところへ江戸時代?の豪華な化粧廻しを持ち込んできた。博物館に寄贈したいとのことで目下検討中だ。

三笠の春日部工場と趣味の釣りや両国の家庭と、おかげでボケの暇もない日々を過ごせても歩がてら回向院の太鼓塚をたずねてみた。「大正二年十月、時の言上呼出し長谷川勘太郎提唱により呼出し代々の霊位をまつるべく」と云々と碑銘に彫られ通称「呼出し塚」の太鼓塚前で私は祖父を偲んだのだ。

華や'90けんきフェスタKOBÉ

平成二年度の建設機械展示会が去る十一月十五日(木)から十八日(日)間での四日間、神戸ポートアイランド・ワールド記念ホール横広場に於いて、メーカ一五十一社、ユーザー八社、計五十九社の参加により華やかに開催された。

第一日は、天候にも恵まれ、午前十一時よりオープニングセレモニーが行われ、四日間の展示会がオープンした。

三笠ブースは、会場小間展示の中で、今回の目玉商品のマイコンパイプレーターを中心に防音型ランマー、油圧式パイプロコンパクター等を展示した。

関西地区に於いて、久しぶりの展示会とあって各メーカーとも気合のこもったものとなった。

秋晴れの暖かい日であった。九時三十分の開場。入出が鋭くどうなることかと心配したが、久しぶりの関西で行なわれた展

示会とあって、遠路はるばる中部地区よりリース、販売店の方々が多数三笠ブースにお見えになり、マイコンパイプレーターの説明を聞かれていた。

十一月十七日(土)

建設機械もいよいよ最終日。早朝より家族連れで訪れた方や、休日を利用してご来場になられた各地代理店の方々に今回の目玉商品としてマイコンパイプレーターの説明に終始迫られた。

このからのパイプレーターとして、また、高周波パイプレーターに変わるものとしてお客様に

印象づけたものと確信しています。

大沢記

この「茶話」でも話題に幾度か出たが、相撲協会の実施した沢山の改革を見ると私は常にああ見事だと感心する。話とい

うのは仲々まとめが難しいので前後したりグダッたりしてお聞き苦しい点が多々あつたと思うが、締めくくりにもう一度相撲協会の改革や英断をふりかえってみよう。

あれは昭和二十八年のことだが、テレビの実況中継の可否について関係者は論議に熱が入った。映像をお茶の間にリアルタイムで伝えることは何よりもファンサービスであり、それは相撲人気の浮揚策にもなる――と説くのが賛成派。いっぽう反対派は茶の間ですべてが見られるとなれば入場客が半減するだろう、これは自分で自分の首を締めるようなものだ主張。両論相半ばしてどちらにも軍配を挙げかねる状態だったが、協会は勇気ある英断を下した。早速その年五月から実況TV放映を開始したのである。

力士と年寄の給与改正と月給制度の採用。大日本相撲協会の最大の取りはなし。検査役の物言いに超短波マイク使用も決定。樹席のほか椅子席の設置。年寄、若者頭、世話人、呼出し、床山の定年制実施など等、昭和三十年前半の改革は目まぐるしい程だった。中でも三十二年の述べます。

(おわり)

和興産業(株)が開催 創立30周年感謝の集い 快晴の伊豆で行われる

静岡県有力代理店として永い間お取引いただいております和興産業(株)様(本社・三島市谷田雪沢一七三二・高島博行社長)におかれましては、この度めでたく創業三十周年を迎えられました。

和興産業(株)様は三島市の本社を中心として建設機械・機材をはじめ産業機械、設備機械の販売・修理、そしてレンタル事業と、この三十年間積極的に業務を拡大され、御殿場、伊東、下田、富士と静岡県東部を中心に



高島社長



営業拠点を設けるなど順調に発展されて参りました。また、近年は県知事登録の建設業も営業ユーザの信頼を得ると共に、その工程に入った仕事を請け負うなど、よりユーザと密着した業務展開を行っているという思いがあります。これもひとえに創業者であります高島社長をはじめ、役員・社員の皆様の一丸となった積極的な営業姿勢の賜と深く感謝する次第です。

この三十周年を記念して、さる十一月十四日、伊豆長岡温泉に於いて主要取引メーカーや商社約二十社がご招待をうけ「創立三十周年感謝の集い」が開催されました。三笠産業もその一員として招待を頂き和興産業(株)様の幹部社員による心暖まるホスピタリティの元、懇親を深めさせていただきました。この会を通じ和興産業(株)様の歩んで来られました三十年間の実績に対する自信と、これからの発展に対する意気込みが強く感じられました。

尚、翌日は快晴のもとゴルフコンペが開催され、和やかな雰囲気なかで和興産業(株)様のさらなる飛躍を祝い、豪快なシヨットでスタートが切られました。和興産業(株)様の益々の御発展を心よりお祈り申し上げます。京谷弘也記

株タテイン建機リース 展示会盛大に



三浦半島の中心部横須賀市に本社を置く三笠産業の有力な代理店(株)タテイン建機リースさん(本社・横須賀市佐原、森崎営業所・横須賀市森崎)に於かれましては十月十三日(土)、十四日(日)の二日間、恒例の展示会を盛大に開催されました。

横須賀市横須賀道路が佐原インターまで開通になり一段と東京から近くなり、その佐原インターからタテインさんの本社まで一分、森崎営業所まで三分と、立地条件にも恵まれ、お客様も横須賀市内はもとより横浜からも多数ご来場いただきました。

展示会場では御馴染みのおでんや焼きそば等の軽食コーナーにも列ができるほどの盛況で、お酒の量も急ピッチで増えていきました。

立石社長の経営方針通り会場には建築の小物から大きなバツクホームまでと各メーカーのテナントがひしめきあい、あちこちから威勢のいい手締めのお客様が聞こえ、ホロ酔い加減のお客様も上機嫌のようであった。

三笠のコーナーにも顔馴染のお客様が多数お見えになり、パイプレーターやランマー、プレート、カッターと多数ご成約いただきました。

また本社のほうでは一般家庭向けの家電製品を始め様々な商品が所狭しと並べられ、家族連

鉄片岡屋

浜松営業所落成で 記念披露パーティ

静岡県下の主要代理店である鉄片岡屋さん(本社・沼津市柳町三十一)におかれましては、浜松営業所が開設十五周年目にあたり、かねてより建築中であつた新社屋がこの程完成され、これを記念して去る十月二十四

日(水)お取引先多数をお招きして披露パーティを盛大に催されました。

完成した新社屋は九百五十坪の敷地に百十坪の二階建ての事務所、二百四十坪の倉庫、四十坪の整備工場となり、東名高速の浜松インターの近くに位置しております。

片岡屋さんは美尾専務を始めとする幹部、社員と一体となつて、時代の流れ、需要の変化を敏感にいち早く経営に変化を、傘下には片岡建機リース、ヤンマー静岡建機、浜松フォームタイとあり、さらに大きく花咲かんとしております。当日は三笠の京谷社長がお祝いに参上し、取引メーカー代表としてご祝辞を申し上げます。

また、新築移転を記念して、謝恩新製品発表展示会『メモリアルフェア』が十月二十七日、二十八日の二日間「現在そして

未来を切り開く」と題して出品メーカー四十数社の参加により盛大に開催されました。多数のお客様をお迎えし、日頃の感謝の意をこめて、抽選会、飲み放題、食べ放題の各種模擬店、とサービス精神一〇〇%の催しで、お買上げお礼の太鼓が絶え間なく鳴り響き、三笠製品も新製品

で、売れに売れているパイプレーターの最先端「マイコンパイプレーター」を始めプレートコンバクター、タンピングランマー、軽便パイプレーター等々大量のご注文を頂き、展示会は大成功に終わりました。

鉄片岡屋さんの今後益々のご活躍とご発展を心からお祈り申し上げます。

鈴木記

仙台営業所 第4回 三笠感謝祭 ポジョレー・ヌーボーで 賑やかにワインとグルメの会



今回で四回目となった仙台営業所の感謝祭も、今回は昨年度までの芋煮会から趣向をガラリと変えて、「ワインとグルメの会」をサポートし、ポジョレー・ヌーボーの解禁を待つて、十一月二十四日(土)に営業所内で開催

しました。今年、90年ヒット商品のマイコンパイプレーターと左官業界に人気のホワイトマンパワートロウエルというビッグな商品を持って活気のある展示会となり、三笠レンタル会、代理店様多数の皆様が、午前十一時から午後五時まで切れ間なくご来場いただきました。

さて、今回のサブテーマである「ワインとグルメ」ですが、筆者の今までのイメージであつた三笠松沢↓安酒↓悪酔い↓泥酔↓軽蔑の古い図式を打破し、三笠↓ワイン↓気品↓知性↓尊敬となるよう、営業所一同これからはワイン党になりたいものです。

ここでワインの飲み方の簡単なエチケットをワンポイント書きますと、まずワインを注いでもらうときは、軽くワイングラスを押さえて注いでもらいます。そして香りや色を楽しんで少し口に含んでキャンセルしたり(キャンセルするとその分を請求されます)オーダーをします。そして飲みたくない時は、注がれる前にワイングラスを軽く手でふさぎます。

来年もおいしいワインと仙台牛で、皆様の要望が大変多く、ご期待に添うよう、また今年以上売上目標達成に頑張ります。



パーティで挨拶する
森社長と新社屋



また、新築移転を記念して、謝恩新製品発表展示会『メモリアルフェア』が十月二十七日、二十八日の二日間「現在そして



松沢記